

事業者向け

就労継続支援B型自己評価表

2024noda

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員20名に対し、 訓練作業室が60㎡以上確保できているか	○			十分なスペースは確保できている
	2 職員の配置数は適切であるか（加算申請をして いる場合は基準を満たしているか）	○			基準上は適切である
	3 事業所の設備等についてバリアフリー化の 配慮が適切になされているか	○			指定基準よりバリアフリー対象施設ではないが、作業棟・ 食事場所は全てバリアフリーになっている
	4 設備等へ安全を配慮した措置がなされている か？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収 材の取付・階段手摺など）	○			指定基準よりバリアフリー対象施設ではないが、利用者さ んが使用する箇所は概ね設置されている
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設 定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			常に職員で情報共有し、計画、実行、評価、改善を心がけ ている
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調 査を実施して利用者または保護者等の意見等を把握 し、業務改善につなげているか	○			毎年実施し、その結果を職員会議で話し合い、改善点を業 務に生かしていくようにしている
	7 この自己評価の結果を事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	○			実施済み。事業所ホームページと会報にて公開している
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか		○		社内研修は行っているが、外部研修に関しても機会があれば積極的に参加したい
適切 な支 援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、利用者または保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画 を作成しているか	○			定期的な見直しの際、事前に利用者または保護者にニーズ や課題等を再確認してから個別支援計画を作成している
	10 標準化されたアセスメントツールを使用してい るか	○			契約時に使用し、職員で共有している
	11 利用者特性に配慮した就労訓練を行っているか	○			利用者の特性を見極め、本人に合わせた就労訓練を行って いる。個々に理解しやすい言葉を選び、五感を使って習得 しやすいようにしている
	12 利用者特性に配慮した作業の配置になっている か	○			利用者の特性を見極めて作業内容を選んでいる。お身体の 不自由な利用者には安全性を考えた動線を心掛けている
	13 利用者の能力向上のため適切な訓練を行ってい るか	○			言葉遣いやコミュニケーションスキルについて個々に話を している。できるだけスモールステップアップを沢山して もらい、成功体験に繋げている
	14 利用者にやる気をもたせる工夫をしているか	○			色々な作業に挑戦してもらったり、作業スキルが上がった 際にその成果と一緒に認めている。工賃支給日に1ヶ月の振 り返りをして、以前より前進している所等を認め、次に繋 げていけるよう声掛けをしている
	15 利用者が働きやすく、作業に集中できる環境づ くりを行っているか	○			机や椅子等、作業によってどのようにしたら良いのか、職 員で常に考え、話し合い、集中しやすい環境を整えている
	16 職員間で打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認しているか	○			朝は朝礼で作業内容等の共有、夕方は反省点などを踏ま え、次の日の役割分担を決めている
	17 職員間で打合せを行い、その日行われた支援を 振り返り、気づいた点を共有しているか	○			当日、または次の日の朝に共有している
	18 定期的に職員間で打合せを行い、自立に向けて の支援内容や役割分担について確認しているか	○			月に1度支援会議を実施し、利用者の特性に合わせた支援方 法の話し合いを行っている。定期的な支援会議の他、気にな る事案がある時はその都度時間を設けている
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録は必ずその日のうちに行っており、記録をもと に共有しながら支援の検証・改善につなげている
	20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の 見直しの必要性を判断しているか	○			定期的な見直しの際にモニタリング用紙を配布して、利用 者または保護者のご意見や目標を参考にしながら職員会議 のもと個別支援計画の見直しを行っている。モニタリング をより深く検証して個別支援計画を立てている

関係機関や保護者との連携	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス管理責任者が中心となり、会議に参画している。サービス担当者会議に利用者を含め、参画したが、利用者の方が涙をこぼしながら感謝の意を伝えてくれた
	22	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えているか		○		現状、医療的ケアが必要な利用者はいないが、今後医療的ケアが必要な利用者が発生した場合は主治医との連絡体制を整えていく
	23	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に利用者または保護者へ確認をとっているか	○			連絡帳等で確認したり、お薬の詳細のコピーをいただき、保管している
	24	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		近隣に発達障害者支援センターがないため、連携や研修などを行っていないが、機会があれば研修への参加も行っていく
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			令和4年9月より、野田市の専門委員会にサービス管理責任者が参加している
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、工賃、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時等に丁寧に説明をし、ご納得いただいてから押印していただいている
	27	利用者または保護者からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時に保護者から相談を受けた場合には迅速にできるだけ丁寧に傾聴し、対応を行っている。利用者本人より相談があった場合はすぐに時間を作り、納得していただけるまで傾聴し、助言している
	28	利用者または保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者または保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			先ず傾聴に重点を置き、次に一つ一つ丁寧に対応し、ご納得いただけるよう分かりやすく説明している
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者または保護者に対して発信しているか	○			年に2回程度会報を発行している
	30	個人情報に十分注意しているか	○			利用者と同意を交わし、HPに保護方針の記載の他、職員間の同意書、会報作成時にWチェック等を行っている
	31	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○			利用者との同意書の取り交わしと説明を行っている
	32	障害のある利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時に丁寧な報告を心掛けている。出来るだけ理解しやすい言葉を使い、時間を掛けて説明を行うようにしている。連絡帳にて理解しやすい文章で読める文字を使い、文字サイズも工夫している
非常時等の対応	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在も感染症などの不安が続いており、地域とのつながりが取れていないが、今後努力していく
	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や利用者または保護者に周知しているか	○			それぞれのマニュアルを策定し、職員・利用者に共有している
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防署への届け出を年2回、その他定期的に色々な災害の発生を想定して訓練を行っている
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に行っている。委員会も設置し、情報の共有、適切な支援方法の理解を深めている
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者または保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか		○		機会がないが、身体拘束の必要な利用者がある場合には、対応方法について全職員と共有し、保護者に了承を得た上で個別支援計画書に記載をする
	38	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在、食べ物アレルギーの利用者はいないが、今後は指示書等のコピーを保管し、全職員にも共有していく
	39	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○			発生した場合はすぐに記録を作成し、事業所間で共有を行っている